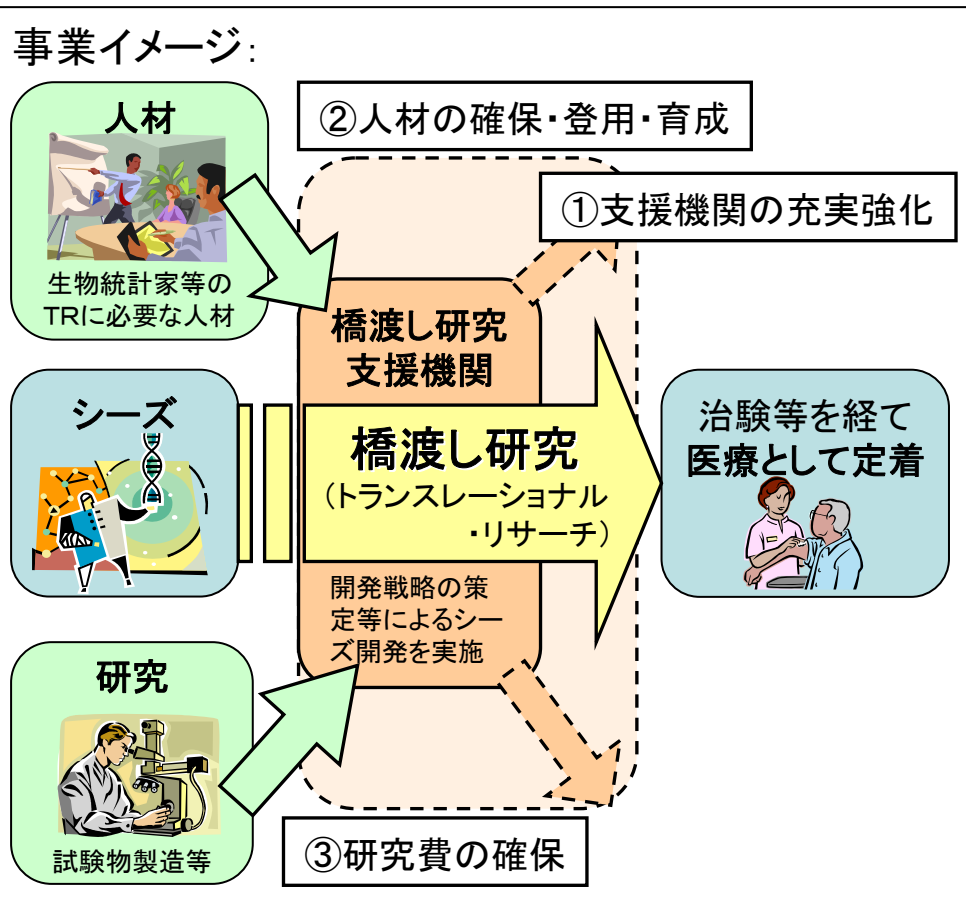


橋渡し研究支援拠点形成プログラム

平成19年度概算要求額：
3,006百万円(新規)

技術開発のターゲット：これまで戦略的・重点的に推進してきたライフサイエンス研究により創出された有望な基礎研究成果を着実に実用化させ、国民へ医療として定着させることを目指す

想定される波及効果：事業により整備された橋渡し研究支援拠点において、橋渡し研究が推進され、有望な基礎研究成果が企業等に橋渡しされ、治験の段階に移行し、国民へ医療として研究成果が還元される



【プログラムの内容】

① 橋渡し研究を支援する機関の充実強化

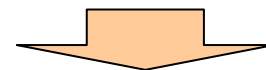
既にシーズ開発に組織的に取り組んでいる機関について、開発戦略策定等の支援を行えるよう機能を整備する等。

② 人材の確保・登用・育成

橋渡し研究が継続的に実施できるよう、生物統計家等の必要な人材を確保・登用し、育成できる体制を整備する等。

③ 橋渡し研究に必要な研究費の確保

患者の安全性の担保と最終的な成果のために必要なGMP基準での試験物製造等の研究費を確保する等。



医療としての実用化が見込まれる有望な基礎研究の成果を開発している大学等を「橋渡し研究支援拠点」として上記を拠点的に実施